

医療安全管理委員会

1. 医療安全に関する基本的な考え方

- ・患者さんの安全をすべてに優先します。
- ・医療安全策は、医療個人の質の向上とともに、事故を起こさない仕組みを追求します。
- ・間違いを誘発しない環境を整え、事故そのものを起こさない対策を組織的に講じます。
- ・より良い医療をしていくためには、患者さんと職員とのお互いの信頼関係が大切です。そのためにも患者さんの主体的な参加が必要です。
- ・職員は、患者さん自らの治療法を選択できるよう、わかりやすい言葉や方法で説明し、患者さんの十分な理解と納得のもとに医療を提供します。

2. 活動

- ・院内／病棟内の問題点を把握し対策を提示する。
- ・インシデント／アクシデントの分析・評価を行い情報の共有を図り、対応策、改善策を実施する。
- ・医療安全教育・研修を開催する。
研修会の開催
5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・躰)

安全な医療の取り組み事例

患者確認
リストバンドの装着



指差し・声だし確認
患者誤認防止



患者誤認防止

一患者トレイ



病室前で氏名とベッドの位置を確認する



ベッドネームを確認、呼称にて再確認する



点滴ボトルを確認、呼称にて再確認する